

事業番号	10 02 04	<b>事業改善シート（令和4年度実施事業分）</b>				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課				
		実施期間	S39 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性								
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		3-8 生活を支える地域交通の確保						

## 1 現状と課題

- ・里山の小規模個人有林等の整備を効率的に進めるためには、施業を集約化するための条件整備が不可欠となっている
- ・作業の効率化及び安全性の観点から高性能林業機械の需要が高まっており、事業に対する要望も多くなっている
- ・主伐、再造林時代の到来や林業機械・トラック等の大型化を踏まえ、基幹的な路網の必要性が高まっている

## 2 事業目的

県産材の効率的、安定的な供給、充実した森林資源の有効活用を図るため、森林の集約化と高性能林業機械の導入や基盤となる林内路網を一体的に整備し、地域を支え、持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業の構築を目指す。

## 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

### ①里山の森林整備の集約化を促進

森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施業同意の取得や境界明確化等を支援

### ②高性能林業機械の導入の促進

木材の素材生産の効率化と作業の安全性を高め、林業就業者の確保・定着を図るため、高性能林業機械の導入を支援

### ③充実した森林資源の有効活用を図るため、基盤となる林内路網の整備を促進

県産材を効率的にかつ安定的に木材市場や製材工場に供給できる林道や作業道を整備

### ④森林路網情報のデジタル化

G I SやG N S Sを活用し高精度にデジタル化された森林路網情報を、森林・林業関係者が互いに情報を共有できる仕組みを構築

## 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	里山の集約化	ha	333	247	↘	105	↘	450	未達成	効率的な県産材の供給を図るため里山の集約化の進捗状況を指標に設定（基本方針を基に設定）	
②	林内路網密度	m/ha	21.4	21.7	↗	21.7 (速報値)	→	21.6	達成	林道・林業専用道、森林作業道等による効率的な木材生産を推進するため指標を森林づくり指針を基に設定	

## 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	683,472	938,160	△ 241,412	1,380,220	47,358	860,438	35.5
R3年度	717,179	985,874	△ 41,774	1,661,279	81,799	975,571	34.5
R2年度	734,500	976,472	49,406	1,760,378	41,629	1,038,883	34.5

事業番号	10 02 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業基盤整備事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課		

## 6 主な取組実績と成果

<p><b>①里山の森林整備の集約化を促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の小規模所有者等の森林整備を進めるため、105haの施業同意の取得を支援することで、森林整備の実施に向けた集約化が進んだ</li> </ul> <p><b>②高性能林業機械の導入の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主伐等の素材生産に取り組む林業事業者による高性能林業機械9台の導入を支援し、素材生産性や安全性の向上に寄与した</li> <li>・高性能林業機械のオペレーター養成研修を28名に対して実施し、高性能林業機械の導入に伴う機械の維持管理、労働生産性の向上及び作業安全の確保に寄与した</li> <li>・林業事業者による高性能林業機械の短期レンタルについて11者を支援し、素材生産性や安全性の向上に寄与した</li> </ul> <p><b>③充実した森林資源の有効活用を図るため、基盤となる林内路網の整備を促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林内道路網の基幹となる林道や作業道を以下のとおり整備し、素材生産量の増加に寄与した 林道整備83箇所（開設10箇所、改良・舗装40箇所、点検・保全整備14箇所、PCB分析19箇所） 作業道整備9箇所（開設9箇所）</li> </ul> <p><b>④森林路網情報のデジタル化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GISやGNSS等の活用により現地と整合したデジタル情報を整備することで、今後林業関係者と情報を共有できる仕組みの構築へつながった</li> <li>・令和4年度は、佐久・上田地域全林道445路線の位置情報、台帳情報及び線形等のデジタル化を行った</li> </ul>
--

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	里山の集約化	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
里山の集約化のために行う地区懇談会等の一部が新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなくなり、同意取得が進まなかった。							
指標②	林内路網密度	R3年度推移	↗	R4年度推移	→	達成状況	達成
林道開設費の縮減や国補正予算を活用して整備を進め、目標値はR3年度に達成した。 R4年度も効率的な事業執行を図った結果、林道開設延長は1,103mとなった。(速報値)							

## 8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の小規模個人有林等の整備を効率的に進めるためには、施業を集約化するための条件整備が不可欠となっている</li> <li>・作業の効率化及び安全性の観点から高性能林業機械の需要が高まっており、事業に対する要望も多くなっている</li> <li>・主伐、再造林時代の到来や林業機械・トラック等の大型化を踏まえ、基幹的な路網の必要性が高まっている</li> </ul>
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の利活用を一層推進するために必要となる森林所有者の同意取得等への支援を行う</li> <li>・事業計画内容から事業の優先順位を決定し、効果的な高性能林業機械の導入の促進を図る</li> <li>・林内作業道だけでなく、県産材を効率的安定的に供給する基盤となる林道、林業専用道の開設及び改良等の整備を促進</li> </ul>

事業番号	10 02 04	<b>細事業一覧（令和4年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>林業基盤整備事業</b>		部局	林務部	課・室	信州の木活用課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	<b>林業基盤整備事業</b>		77,201 千円	77,522 千円	51,406 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	高性能林業機械導入推進事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>主伐等の素材生産に取り組む林業事業者による高性能林業機械の導入を支援</li> <li>高性能林業機械のオペレーター養成研修を開催</li> <li>林業事業者に対する高性能林業機械の短期レンタル経費を支援</li> </ul> 導入台数 9台、養成人数 28名、支援対象者数 11者		
2	地域で進める里山集約化事業	交付金	森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施業同意の取得等を支援 集約化面積：105ha		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	<b>林道整備事業</b>		961,682 千円	898,049 千円	809,032 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	特定林道維持管理事業費	補助金	特定林道に対する財政支援を行い適切な維持管理と通行の安全を図る 【1路線、約17kmの維持管理】		
2	森林路網DX推進事業	直接委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林路網（林道）のデジタル情報収集調査</li> <li>森林路網のデジタル情報管理体制の構築</li> </ul> 佐久上田地域全林道445路線の位置情報、台帳情報及び線形データ等を整備		
3	森林整備に直結する作業道整備事業	補助金	森林整備や間伐材の搬出を行うための作業道開設等に対する補助 開設9箇所		
4	公共林道事業	直接補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林資源を効率的、安定的に供給する基盤となる林内路網を整備</li> </ul> 開設10箇所、改良・舗装40箇所、点検・保全整備14箇所、PCB分析19箇所		
5	県単林道改良事業	補助金	地域の重要路線であり、一般者の入込みの多い特定林道の機能回復を図るための工事に係る助成 特定林道（南アルプス線、奈川安曇線）2路線		